

平成 20 年 10 月 7 日

各 位

病害虫防除所長

平成 20 年度病害虫発生予察技術情報第 6 号 (タバコガ類) について

性フェロモンを用いたタバコガ類雄成虫の誘殺調査では、県東部 (安芸市) ではタバコガが、中央部 (香南市) ではオオタバコガ、タバコガともに発生が多い状態が続いています (図 1、2)。また現地からも、県中央部から中西部にかけての露地シシトウやピーマンで被害の報告が寄せられています。

タバコガは比較的寄主範囲が狭く、被害はトマトやピーマンなどナス科作物に限定されますが、オオタバコガは寄主範囲が広く、今後もその発生状況により多くの作物で被害が心配されます。

向こう 1 ヶ月の気象予報でも、降水量や日照時間は平年並ながら気温は高いと見込まれることから、野外での活動が遅くまで続き、ハウスへの飛び込みも長引くことが予想され、施設果菜類などでは今後の発生に注意が必要と思われます。

防除対策としては、開口部への防虫ネット被覆や黄色蛍光灯の夜間点灯が成虫の侵入阻止に有効で、薬剤防除は果実内部へ侵入する前の若齢幼虫時に行うと効果的です。

なお、病害虫防除所のホームページでは、フェロモントラップの調査結果を公開していますので、参考にしてください。

問い合わせは、病害虫防除所 西 (TEL088-863-1132) までお願いします。

病害虫防除所ホームページアドレス : <http://www.nogyo.tosapref.kochi.lg.jp/byoki/boujoshou/>

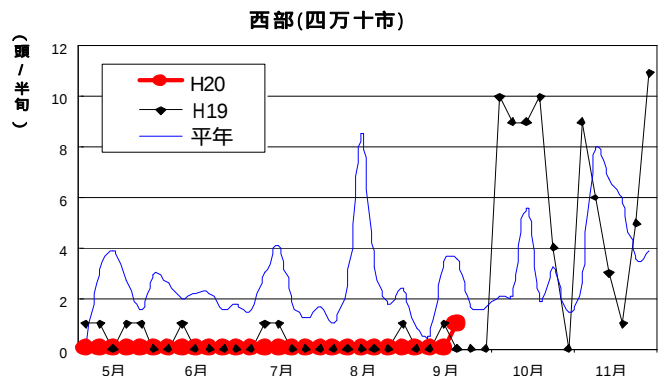
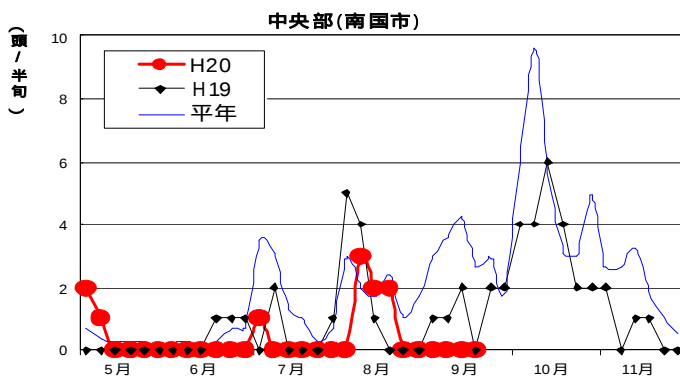
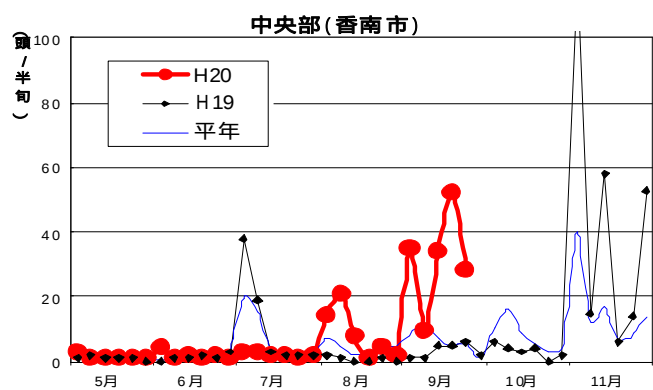
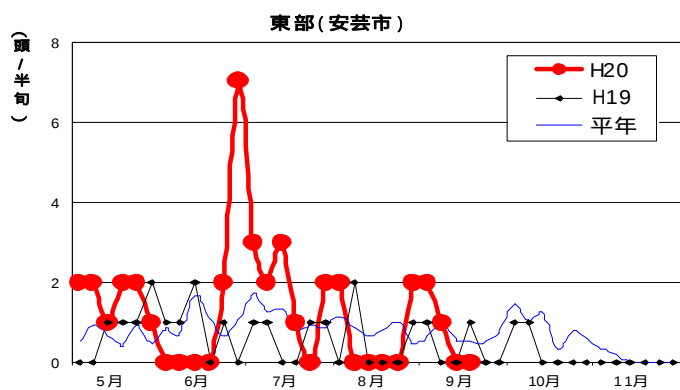


図1 各地区におけるオオタバコガ雄成虫の誘殺数の推移(フェロモントラップ)

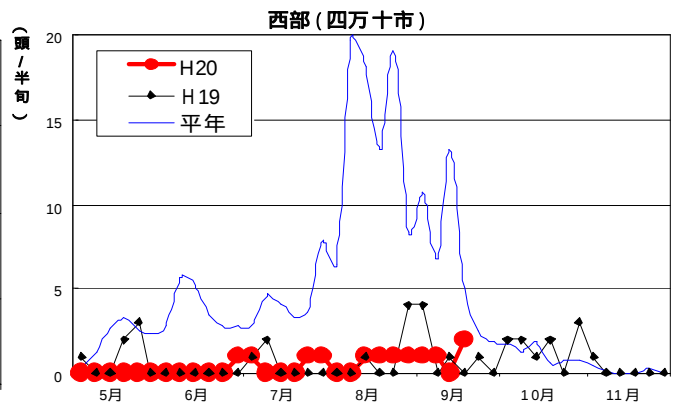
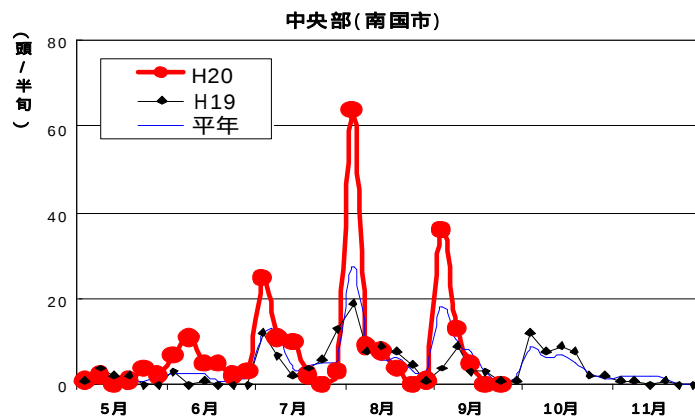
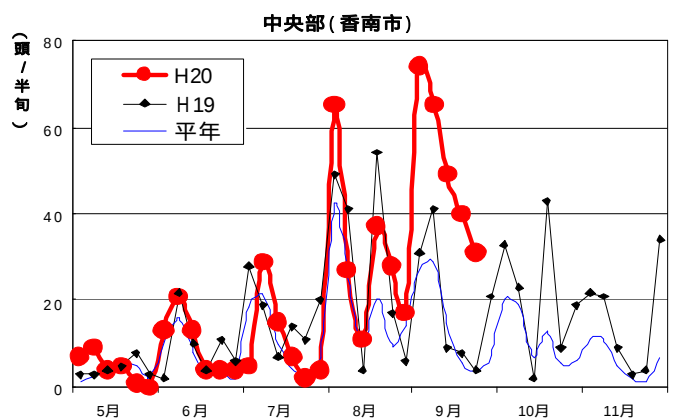
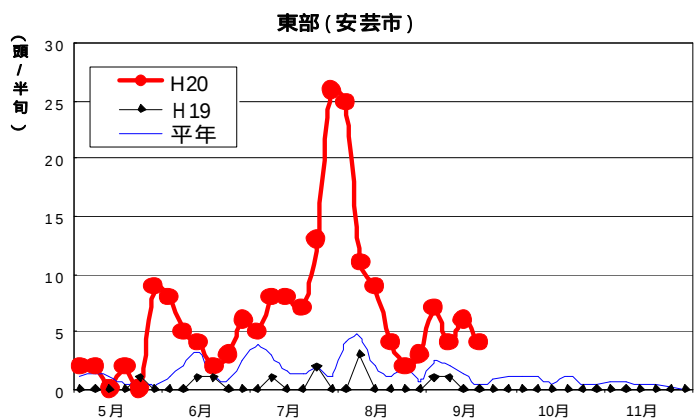


図2 各地区におけるタバコガ雄成虫の誘殺数の推移(フェロモントラップ)